

## 看護学科

## 講義要綱

科目	教育学	単位数	1	開講時期	2年前期
授業形態	講義	時間数	15	必修区分	必修
担当者	小田 三成				
授業目的	教育および教育学の基礎的知識（概念）を学び、看護学との共通性を理解する。				
到達目標	1 人間の成長に関わる教育の機能について理解を深め、看護における教育的側面を理解する。 2 学ぶことの必要性・教育方法・指導方法・評価方法を学ぶ。				
技術項目					
授業概要	これまでに受けてきた教育あるいは行ってきた教育に関する経験から出発して、各種教材を通したグループワークを行う。グループワークによって教育や学習の価値や難しさについて実践的に考えていく。				
授業展開	回数	内容	準備等	担当者	
	1	教育とはなにか		小田 三成	
	2	教育の歴史 ～動物の子育てから学校の登場まで～			
	3	教育評価について～目標分類学を中心として～			
	4	教育評価の実際～具体的な手法を用いて～			
	5	教育方法の基礎			
	6	教育方法について			
	7	教育における現代的な課題～ジェンダー、ICT、防災～			
8	終了試験				
履修条件					
評価方法	グループワークへの参加・毎回のリアクションペーパーの内容・終了試験				
テキスト	特に指定しない				
参考書	特に指定しない				
備考	必要に応じて、適宜・適時、資料を配布する。				

## 看護学科

## 講義要綱

科目	英会話	単位数	1	開講時期	2年前期
授業形態	講義・演習	時間数	30	必修区分	必修
担当者	Cunningham Bruce William				
授業目的	日常英会話の場面・文化・生活に使われる英語を理解する。				
到達目標	1 看護場面で活用できる英会話を体験的に学ぶ。 2 良い人間関係を築くための会話のコツを学ぶ。				
技術項目					
授業概要	看護場面で、実際に英語で話すことができるように、積極的かつフレンドリーに話すよう心がけてください。				
授業展開	回数	内容	準備等	担当者	
	1	日本語的な発想ではなく、国際共通語としての英語の発想による会話練習。 日常英会話の場面・文化・生活に使われる英語の学習。 (あいづちの打ち方、上手な謝り方、口調を和らげる表現など)		Cunningham Bruce William	
	2				
	3				
	4				
	5				
	6				
	7				
	8				
	9				
	10				
	11				
	12				
	13				
	14				
15	終了試験				
履修条件					
評価方法	終了試験・コミュニケーション試験				
テキスト	Speaking of Nursing 看護系学生のための英語コミュニケーション Peter Vincent Alan Meadows 南雲堂				
参考書					
備考	初回講義時に太マジックと名札を使用します。準備してください。				

## 看護学科

## 講義要綱

科目	心理学	単位数	1	開講時期	2年前期
授業形態	講義	時間数	30	必修区分	必修
担当者	田辺 肇				
授業目的	人の体験と行動の発生と発達の過程、法則、背景メカニズムや適応的意義など、心理学の基本的な知識の習得を目的とする。				
到達目標	こころのケアや精神保健の領域に限らず、人の体験と行動がどのような過程を経て生じるのか、あるいはその過程にはどのような傾向や法則があるのかについて知ることは、看護実践を進める上で不可欠の知識といえる。				
技術項目					
授業概要	毎回レスポンスシートの提出を求める。それに応じて授業を展開する。				
授業展開	回数	内容	準備等	担当者	
	1	心理学における人間理解①心理学とは（心理現象と心理メカニズム、意識と行動）		田辺 肇	
	2	感覚と知覚			
	3	記憶・自己			
	4	心理学における人間理解②研究法（共感的理解と客観的理解、理論とモデル、科学とエビデンス、相関と因果、調査と実験）			
	5	思考・言語・知能			
	6	学習			
	7	感情と動機づけ・報酬系			
	8	性格とパーソナリティ			
	9	社会と集団			
	10	発達			
	11	心理臨床①（ストレス・アセスメント・精神障害）			
	12	心理臨床②（心理療法・危機介入・家族・コミュニティ）			
	13	医療・看護と心理			
	14	心理学における人間理解③（心理学史：心のモデル）			
15	終了試験・まとめ				
履修条件	授業中の発言を含め、好奇心をもって積極的に授業に参加すること。				
評価方法	終了試験				
テキスト	系統看護学講座 基礎分野 心理学 山村豊ら（著） 医学書院				
参考書	新体系看護学全書 専門分野Ⅱ精神看護学①精神看護学概論精神保健 メヂカルフレンド社 新体系看護学全書 基礎科目 心理学 メヂカルフレンド社 はじめて出会う心理学【第3版】 長谷川寿一ら（著） 有斐閣				
備考					

## 看護学科

## 講義要綱

科目	生命倫理学	単位数	1	開講時期	2年前期
授業形態	講義	時間数	30	必修区分	必修
担当者	高嶋 佳代				
授業目的	1 倫理的問題に対応する上での基礎的な生命倫理の考え方を身につけることができる。 2 生命に関わる多様な倫理的課題について、掘り下げて考えることができる。 3 グループワークを通して自分と異なる考えに耳を傾け、自分の考えを深めることができる。				
到達目標	生命に関わる倫理的な課題に対して、授業の内容を踏まえた上で、どのように向き合うことが必要か自分の考えを示すことができる。				
技術項目					
授業概要	講義に加えて、映像資料や事例を用いたグループワークを、連日複数回行います。				
授業展開	回数	内容	準備等	担当者	
	1	イントロダクション		高嶋 佳代	
	2	生命倫理概論			
	3	価値について			
	4				
	5	医学研究の倫理的課題			
	6	意思決定について			
	7	人生の最終段階に関わる倫理			
	8				
	9	生殖に関わる倫理			
	10	子供に関わる倫理			
	11				
	12				
	13	先端医療の倫理			
	14				
15	終了試験				
履修条件	生命倫理に関する問題を、講義やグループワークを通じて、皆で一緒に考えながら授業を進めていく予定です。それぞれのテーマについて、自分や他者の価値観について意識し、倫理的問題について自分の意見に関する根拠や理由を十分に考え、深めることを心がけてください。				
評価方法	終了（筆記）試験・グループワークや授業への参加意欲や態度の総合評価				
テキスト	テキストは特に使用しませんが、講義前までに参考文献をよく読んでおいてください。				
参考書	命は誰のものか（増補改訂版） 香川千晶 ディスカヴァー携書（2021年） 安楽死・尊厳死の現在-最終段階の医療と自己決定 松田純 中公新書（2018年） （購入は必須ではありませんが、関心に依じて参考にしてください）				
備考					

## 看護学科

## 講義要綱

科目	社会学	単位数	1	開講時期	2年前期
授業形態	講義	時間数	30	必修区分	必修
担当者	福田 幸夫				
授業目的	社会学は、人間同士の関係性を分析・検討する学問です。看護師を目指す人にとっても、社会学が対象とする現代社会の様々な課題を学ぶことは、社会人として、また医療専門職としても有益な知識になり、実務に役立つと思います。				
到達目標	まず社会学の基礎概念を理解することを目的に、相互行為や社会関係、集団、組織といった社会的理論を学びます。特に社会変動や近年のグローバリズムについての知識を深めます。次に、保健医療と社会学の関係性を取り上げ、公衆衛生との関連や患者の視点の大切さを考察します。社会学の基礎的な知識を学習した後は、健康・病気と社会のあり方、格差問題、労働環境を取り上げます。保健医療の専門職についての考え方や、性・ジェンダー・家族問題、地域と保健医療の現実的な課題を学習することにより、社会学の知識を専門性に生かせる看護師を目指します。				
技術項目					
授業概要	テキストの内容を基本として、現実に行っている様々な社会問題についても取り上げていきます。パワーポイントを使用して、テキストの要点を整理し、重要なポイントを解説していきます。授業の振り返り(リアクションペーパーに記入)により、学習の感想や質問にその都度対応していきます。				
授業展開	回数	内容	準備等	担当者	
	1	社会学の授業のすすめ方		福田 幸夫	
	2	第1,2章：社会学の基礎理念と社会学的視点			
	3	第3章：保健医療と社会学との関係性			
	4	第4章：社会学と社会調査の手法			
	5	第5章：健康・病気と社会学の考え方			
	6	第6章：社会格差と健康格差			
	7	第7章：職業、労働と健康、病気			
	8	第8章：健康行動と病気行動、病経験			
	9	第9章：患者、専門職間のコミュニケーション			
	10	第10章：保健医療の専門職			
	11	第11章：性・ジェンダー・家族の課題と社会学			
	12	第12章：コミュニティとソーシャルサポートネットワーク			
	13	第13章：わが国の保健医療制度			
	14	第14章：わが国の保健医療制度の課題			
15	総括(全体のまとめ)・終了試験(レポート)				
履修条件	授業内で評価方法について説明します。				
評価方法					
テキスト	系統看護学講座 基礎分野 社会学 医学書院				
参考書	適宜授業中に指示する				
備考					